



SSKW すてっぷ だより

編集 社会福祉法人すてっぷ すてっぷ後援会
〒379-2164 群馬県前橋市東上野町 136 番地 1
TEL 027-290-6161 FAX 027-290-6162 <http://www.s-step.com> w-step@s-step.com

No.66



第6回

チャリティーハンドメイド展 in すてっぷ

“あたたかいカタチ”

あたたかい気持ちが形になる。心に伝わる温もりがこちよい。そんな大切な時間

2016年11月26日（土）・27日（日）

○開催時間 **26日 10:00~17:00 / 27日 10:00~15:00**

今年も県内を中心にご活躍されている作家25名の方々にご協力いただき、「チャリティーハンドメイド展」を開催させていただくことになりました。第6回となる今年の出品作品には、ニット／フラワーアレンジメント／ろうけつ染め／カントリー木工／アクセサリー／パイレックスガラス・レザーと新たな作家さんも加わり、昨年とはまたひと味違った作品をお楽しみいただけます。

また、ハンディを持つ方々の作品（エイブルアート）に触れ、直接鑑賞や購入をしていただける機会となります。

さまざまな作品を鑑賞し、手づくりの“あたたかいカタチ”を感じていただけたら幸いです。

ぜひ、芸術の秋を“すてっぷ”でお楽しみください。

また、チャリティーハンドメイド展の売上の一部は「すてっぷ後援会」に寄付され、社会福祉法人すてっぷの施設整備資金等に活用されます。

ひとりでも多くの方々にご来場いただけますよう、心よりお待ちしております。



エイブルアート



カントリー木工



アクセサリー



ろうけつ染め



フラワーアレンジメント



9月5日～9月9日 わーく・ぴいす・とらっぱ海外旅行

ハワイ・ワイキキ 3泊5日の旅



あこがれのハワイ・ワイキキ5日間の旅に行ってきました！

平成28年9月5日～9日までの3泊5日の5日間本当に楽しい思い出がいっぱいの旅行となりました。

参加者は、わーくはうす・ぴいす・とらっぱの利用者さん23名（海外旅行初挑戦の5名を含め）とスタッフ10名。

日本では毎週のように台風が上陸する中、9月5日成田を飛び立ち、みごとな青空にめぐまれて、憧れのハワイを満喫してきました。

念願のステーキにパンケーキ・アサイーボウルなどお腹いっぱい食べたり、青い海で浮かんだり、イルカとのふれあいを楽しみ、弾ける笑顔満載です。

みんなで全力で遊んだ、わくわくドキドキの旅をご紹介します。

【1日目】わーくはうす（群馬福祉バス）→成田空港→ホノルル着→昼食、ドール観光→ホテル泊（シェラトンリゾートカウア）夕食：バイキング（シェラトンリゾートの内カマーケッ）

【2日目】①潜水艦コース②イルカコース③ビーチコース→田中オブ東京（夕食）

【3日目】①アラダ（朝食）→ショッピング→

②ビッグスツガス（朝食）→ロミロミまたはワイキキビーチとショッピング→

（夜）①サリットデイナーショー・クルーズ ②アラダデイナーショー&ポリネシアショー

【4日目・5日目】朝食→ホノルル国際空港→成田空港→わーくはうすすてっぷ（バス）

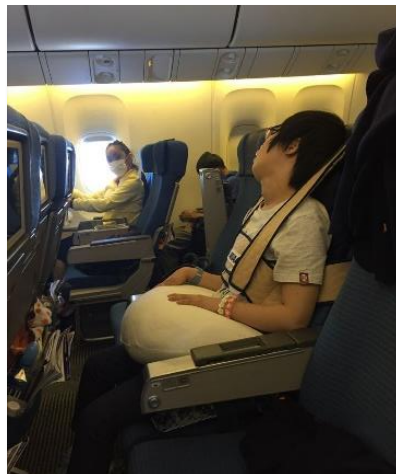
もちろん今回も阪急交通社の松岡さん同行でした。

★9月5日

機内用車椅子に乗り換えて搭乗準備。



＜ドール観光＞



長時間のフライトで
疲れないように
3列シートを利用。
しっかりと睡眠・休養
が取れました。

＜夕食カマーケッ＞



到着したその足でドールへ向かいました。
とれたてのパイナップルは、とても美味しかったです。



顔の大きさくらいあるローストビーフにビックリ！！
みんな食べていました。

★9月6日

〈アクティビティ〉

潜水艦コース



潜水艦
窓をのぞくと、
青い海と魚達！
釘付けです！

イルカコース



イルカとのふれあいを
前にした一枚。
みんな初めてのイルカと
のふれあいに興奮。
イルカに驚かされる場面
もあったものの、何度も
イルカに触れて大満足。



ビーチコース デューク・カハナモク・ビーチ&ラグーン



「初めて海の中まで入ったよ！気持ち良かった」



ラグーンでペダルボートを満喫！！

〈夕食田中オブ東京（ステーキやシーフード）〉



シェフの巧みな技・ユニークなパフォーマンス・最高に美味しい料理に大満足♪

★9月7日

〈朝食&アクティビティ〉

朝食&ショッピング（ロイヤルハワイアンショッピングセンター）



ザ・ペランダでの朝食

「海を眺めて食事をしたい」という希望が実現。
一番人気のパンケーキやフレンチトーストを堪能しました。

朝食&ワイキキビーチ



パンケーキの有名店「エッグスンシングス」
朝の6時！一番で入店。
このボリューム！唖然です。



ワイキキビーチ

カラッと晴れた青空の下、ぷかぷか気持ちいい～



〈夕食〉

サンセットディナーショークルーズ

② デラックスディナー&ポリネシアンショー



宿泊先ホテルで
行っている迫力満点
のショーを最前列で
楽しみました。

夕日とディナーと
ショーと、
そして最後は
みんなでダンス！



－北欧視察報告Part II－

スヌーズレン Snoezelhuset

<デンマークでのスヌーズレンの普及>

スヌーズレンはオランダで70年代に生まれた考え方で病院の治療の一環で、車椅子の方が病院内でいろんなことにチャレンジできるようにしようということから始まっている。

今回見学したスヌーズレンは21年前からあり、デンマークでいちばん古い施設。

デンマークは各地にセンターがあり、誰でも利用することができ、障害者施設や高齢者施設、病院など各施設には2部屋は必ずスヌーズレンルームがある。

スヌーズレンルームを各施設に設置することに経済的にも意味があり、利用者同士や職員と利用者で対立することもあり、そういう時にこの部屋を利用することで余計な薬を与えたりすることをしないで済むし、職員の病欠率も減っている。

ストレスが軽減されるため、職場環境の改善にもつながっている。

また、70年代に職場環境に関する法律が確立していき、ロボット導入の背景となる。

単純作業は機械にやってもらい、人しかできない品質管理などは人がやり、長く働ける職場環境が大事とされるようになり、みんながこの基準は大事に思っている。

★青の部屋★ **ウォーターベッド** 水が下から突き抜けるような感覚になっており、強さや温度も人に合わせて変えられる。
37℃に温度を設定。落ち着けない子どもに対しては有効。

★赤の部屋★ **ウォールプール(カラー)** 自然とアクティブになれる部屋。

★黄色の部屋★ 悩みを持つ人に非常に人気のある部屋。精神安定がはかれる。

★白の部屋★ 大きなウォーターベッドの上に横になり、好きな音楽に耳を傾け、
ゆっくりと変化する光の効果を見ることができる。

★黒の部屋★ 青紫の外光に照らされていて、鏡張りになっている。
集中力が高まると言われている部屋でもある。

“施設内に1ルームつくるだけでも職場環境も改善され、働く職員も幸せ、
利用者も幸せ。施設内に1ルームつくるだけで劇的に変わる”

わーくはうすすてっぷ 阿部



グルボースン市の福祉制度の説明

デンマークの面積は九州、人口は兵庫県とほぼ同じで、税金の負担率が高い分、教育や福祉、医療が無料。

グルボースン市は、人口が61万人で、デンマークで最南端に位置する島です。

住民1人あたり100万円ほどの予算が組まれ、障がい福祉関連の職員(地方公務員)が400名います。

24時間体制のグループホーム(3ヶ所)、在宅サービス、余暇クラブ、職業訓練施設(2ヶ所)などのサービスに約20億円をかけています。グループホームはアパートと同じバスとトイレ付の個室であり、他に共同で利用できるスペースがあります。

福祉サービスで一番大切にしていることは、個々の可能性を引き出して、最大限に毎日の生活の中で使えるように、多数の支援者と共同で支援すること。常にベストな選択ができ、障がいがあっても自分を社会の中で生かせるよう、日々模索をしているとのこと。

とらっば 赤見



統合教育実践校 NORDBYSKOLEN（国民学校）見学

NORDBYSKOLENは、6才～16（17）才の子ども達が通う国民学校である。

校長先生は、「インテグレーション（統合教育）からインクルージョン（インクルーシブ教育）へ移行している」と力説していた。「問題のない子どもというものは存在しない。全ての子どもは何かしらの問題を抱えているので、その問題をどのようにサポートしていくか、それが重要である」といった考え方に基づいて、障害児／健常児といった区別なく1人1人のニーズ（or 問題）に対応した教育を実践していく中で平等な学習機会が保障され、互いに学びあう（協働）中で展開していく教育である。

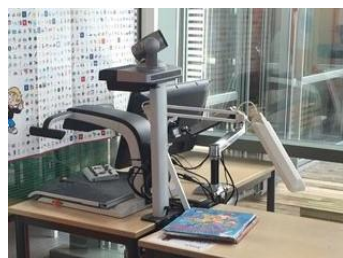
見学校では、全校530名の内 ①学習障害64名 ②身体障害4名 ③週9Hの個別の支援が必要な子供5名 ④授業に集中できないもしくは、学校の規則が守れない子供 ⑤全国テストの結果が著しく低い子供 に対して常勤している学習障害コーディネーター（メテさん）を中心に個別支援をしていた。尚、トイレコントロールが整っていない子供や自閉症で急に狂暴的になる子供、週9H以上の個別の支援が必要な子供は、自治体が判断し特別支援学校に通っている。メテさんは、クラス担任より相談を受け、実際の授業を見学しプログラムを作り一緒に支援したり、専門チーム（クラス担任、臨床心理士、言語療法士、作業療法士、コミュニケーションの担当者、ソーシャルワーカー、医師等）を組織しプログラムを作り支援している。

インクルーシブ教育を成功させるポイントとしては、①情報収集：頻回にアンケート実施②早期発見・早期解決③外部の専門家の意見を聞く：ネットワークミーティングの実施（心理学者週2回位、看護婦やSTな月2回位）④親との相互理解を深める⑤移行先の施設や学校と密な情報共有とのこと。

わーくはうすすてっば 北爪

01 学年のクラスでの個別対応

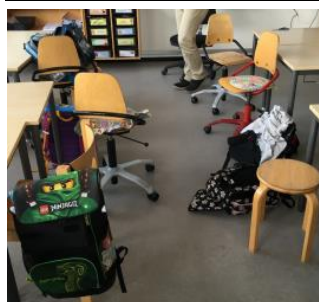
弱視の子どものために



板書を移すカメラと板書を拡大して見えるPC一式



学習障害の子どものために



集中して学習できるよう
それぞれに合わせた椅子

自閉症の子どものために



刺激をなくし好きなものの中で
落ち着ける窓際の学習環境

職業訓練センター（Saxenhøj）

昔のデンマークには「人は全て働く」という法律があり、それから漏れてしまう障がい者や社会になじめない人たちを保護する場所として、150年前に設立されました。現在は職業訓練として60名の利用者が通い、広大な敷地で農業や園芸、売店の仕事をしています。

生産している物は全てオーガニック。牛やデンマークの原種である豚などを飼育して、肉やソーセージに加工し、野菜や花などと一緒に売店で販売しています。小動物や馬も飼育。馬と接することで色々なことが改善されることが多いとのこと。野菜の栽培には、デンマークのオーガニック法に沿った土を使用しています。

ここで働く障がい者は農業や園芸の専門家の指導を受けながら、仕事に特化していくことを大事しています。

売店には6名の障害者が販売として、値付けや商品の補充をしています。

ここでの生産物以外に地域のオーガニック生産者の商品（小麦やジャム、菓子）なども販売しています。ファーマーズマーケットの告知を地元のメディアに積極的に取り上げてもらい、一般の人たちに農場や売店に気軽に来てもらうことで、自分たちの仕事を誇りに持って紹介したり、見せたりすることで利用者のモチベーションに繋がっているとのこと。



とらっば 赤見

売店の様子

障害者アクティビティセンター

だいたい70人ほどの利用者の方たちが毎日送迎車に乗り来園し、半日～1日過ごしています。

障害や年齢に合わせて5つのグループ（陶芸・手芸・高齢者・コミュニケーションの
取りづらい人たち・重度の心身障害の人たち）に分かれて活動を行っており、陶芸
などは国を超えてのプロジェクト（No Limit）に参加をしたり、行政から
の依頼で街の美化活動に参加をしています。

施設内での日中活動のほかに乗馬セラピーやスヌーズレンを受けに外の
施設に通うこともあります。

また、施設は年中無休であり、いつでも利用できるよう体制が整っています。

現在、新しく自閉症の人たちの為の部屋を増設しているところとのことで、
さまざまなニーズを聞き、通いたいと思える施設を試行錯誤して作って
いっているそうです。

また、こういった施設には必ずと言っていいほど、高齢者の為の施設も
併設していて、それは人が施設に合わせて動くのではなく、施設が人に
合わせて継続して通える場所を作っていくことが大事と考えているから
という考えに基づいているからです。



サンサンすてっぴ 松井

— 北欧視察を終えて —

すてっぴで働き始めた時、「2～3年後には北欧視察研修に行こうね」と鈴木施設長に声をかけられて7年経過し、願いが
叶いました。デンマークは初夏。朝は4時から夜11時まで明るく、街や田舎の風景はおとぎ話の挿絵と同じで感動しまし
た。私の業務の1つは個別支援プログラムの作成ですが、デンマークではそのような考えはありませんでした。支援者が共
同して本人にとって心地よいと思われることを模索、実行するということを知り、制度の違いに驚きでした。そして、「イ
ンクルージョン」という本人が地域社会の社会資源として存在し、自分らしい暮らしを築くという考えを教わりました。今
後、このような視点を大切にしたい支援やプログラムを作成できるように取り組みます。 とらっば 赤見

デンマークでは、職業の専門性が日本よりも細分化されており、皆仕事に対してしっかりと知識と経験をもっていると
感じました。なので、職種の変更などは必要なスキルアップと考えられ、それに対しての国のバックアップ体制もしっかり
していました。新しい知識を取り入れ自身の向上にも努められる環境は、見習っていかねばいけないと感じました。ま
た、今回のように実際見て経験出来たことは私にとってとてもよい経験だったので、これからの仕事に繋がれたらよいと
思っています。 サンサンすてっぴ 松井

22年前の北欧視察で、初めてコペンハーゲン中央駅に立った感動を思い出して見上げた天井は、さらに古さを増してい
るだけで何ら変わりはありませんでしたが、行きかう人々は切符を買う様子もなく、スマートフォン一つで乗車しているの
には驚くばかりでした。

そして、すてっぴが開設当初から目指していたノーマライゼーションはすでに過去のことになっていて、今は民主主義に
基づいて本人の希望する生き方を選択する社会となっていました。当然どんなに重い障がいのある人でも、その基本に変わ
りはありません。「民主主義」— 当たり前と思っていましたが、いざそれは何だと問われるととっさには返答につまっ
てしまいます。

国民の意思で原発を持たない選択をしたエコな暮らしも、そこから生まれているのだろうと教えられました。

サンサンすてっぴ 今野みや子

9月22日～9月23日 ぴいす 国内旅行

横浜 1泊2日の旅



■旅行日程

- 【1日目】ぴいす棟→バスで八景島へ→横浜ベイホテル東急着→ランドマークタワー
または赤レンガ倉庫→横浜ベイホテル東急泊
- 【2日目】横浜ベイホテル東急発→山下公園→横浜中華街（昼食・買い物）
→ぴいす棟



八景島のハロウィンのデコレーションの前で。



9月22～23日でぴいすの国内旅行組は横浜に行ってきました。

天気予報通りの雨。しかも八景島シーパラダイスに着いた時にはどしゃぶりの雨でしたが、グループに分かれて、イルカのショーを見たり、海の生き物を触ったり、水中にいるようなエスカレーターに乗ったりして楽しみました。

夜には雨も上がり、ランドマークタワーと赤レンガ倉庫に行くグループに分かれて行動しました。夕食は事前に話合いで決めておき、ランドマークのグループは「とんかつ和幸」

か、みなとみらいの夜景が一望できるレストラン「ドウラクコリーダ」に。赤レンガ倉庫のグループはオムライスのカリスマがいるという「横濱たちばな亭」へ。それぞれグループごとに展望台にのぼったり観覧車に乗ったり、買い物をしたりして過ごしました。夜の街、しかも大都会のキラキラした夜景に包まれ、少々興奮気味の利用者さんでした。宿泊先はコスモワールドのすぐ目の前、横浜ベイホテル東急。ゆっくり休んで一日の疲れをとりました。



みんなそれぞれお決まりのポーズで集合写真

二日目は山下公園散策からスタート。海をバックに全体での記念撮影をしてから、グループに分れて中華街へ歩いて行きました。昼食は同発別館へ。ボリューム満点の中華料理のフルコースをお腹いっぱい食べました。最後は家族や友人にお土産を買ったりして、さあそろそろ帰りのバスの時間・・・となったところで再びどしゃぶりの雨に。このどしゃぶりの雨で視界も悪かったせいか、一人の利用者さんが迷子に！スタッフが来た道を探しながら戻りましたが見つかりません。まいったなぁと思っているところへiPhoneに知らない人から電話が。「SOSカードを持った人がここにいるので来てください！」無事に合流できました。携帯電話を持っていない人にはSOSカードを渡していましたが、それをうまく伝えるかは利用者さん次第。

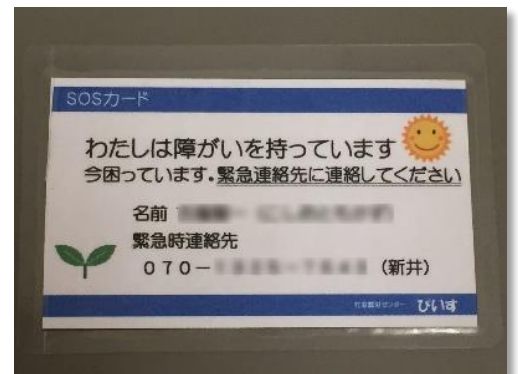
今回初めてSOSカードが役に立ちました。



どれもおいしくて、お腹いっぱい、大満足！



イルカのショーを仲良く「ぴいす」



迷子になったら、近くの人にこのカードを見せます。

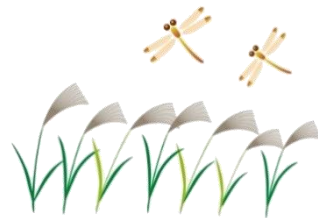
雨に始まり雨に終わった横浜旅行。でも、最後まで笑顔の絶えない楽しい旅行になりました。

来年の旅行も楽しみにしててくださいね。

ぴいす 小山

9月30日～10月1日 とらっば 国内旅行

那須高原 1泊2日の旅



グループ旅行で那須旅行に이었습니다。

■旅行日程

- 【1日目】とらっば（バスで那須へ）→UNICOパワーストーンのプレスレット作り
→ハンバーガーでランチ→那須ロープウェイ 山頂駅散策
→モンゴリアビレッジテンゲル宿泊。バーベキュー、モンゴル馬頭琴
キャンプファイア
- 【2日目】バイキング朝食→那須フラワーパーク→どうぶつ王国、買い物→とらっば



プレスレットを作りました！



那須山頂の散策です！



モンゴル遊牧民のゲルテントに宿泊！



バーベキューもお手のもの！
那須牛おいしかった。



那須フラワーパークの
きれいなお花と。



どうぶつ王国で触れ合いました。

今回は利用者6名、スタッフ3名の少人数の旅行でしたが、利用者それぞれのやりたいことに合わせて、きままに自由に行動し楽しむことが出来ました。

「モンゴルの馬頭琴がすごかった！」

「楽しかった！来年は石川県にいきたい！」

とらっば 水城

-車椅子のご寄付ありがとうございました-

野口淳一様より車椅子2台を寄付して頂きました。お母様（故人。千江子様）のご遺志で福祉事業所への寄贈活動を引き継いでいるそうです。1台はわーくはうすすてっぴで、1台はサービスステーションで大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

（野口淳一様は理事長の知人で、以前、群馬医療短大（現群馬県立県民健康科学大学）の事務長をされていた時、ぴいすに県立女子大の学食の紹介をして下さいました。それでぴいすが県立女子大の学食や購買などの委託を受ける事が出来ました。）



例年行われております『クリスマスコンサート』は、出演者の都合により今年度は中止になりました。あわせてベーカリーカフェ感謝祭も中止とさせていただきますので、ご了承ください。



後援会費納入ありがとうございました



天田 章様、飯塚秀樹様、一倉憲一様、今井寿美枝様、浦野成章様、海老沼良矩様
追川祐次様、大谷律子様、女屋やよい様、女屋泰秀様、加藤さゆり様、金古道子様
河内那保子様、桐生瓦斯株式会社様、久保 博様、久保田桂子様、児玉嘉正様、小林香織様
小山陽二様、城田佳子様、鈴木 潔様、鈴木芳雄様、高木伸之様、瀧澤久仁子様、武井宏純様
竹内淳一様、立石志津子様、田中克己税理士事務所様、塚田千枝様、塚越久雄様、常岡 裕様
戸丸史郎様、中嶋新吉様、中山康江様、藤井節男様、堀越久美子様、松本正子様
有限会社丸又様、村山健児様、茂木勝美様、山本朱美様、横堀初枝様
株式会社 iMotivations 様

- ・わーくはうす すてっぴ
- ・社会就労センターぴいす
- ・とらっぱ
- ・ヘルパーステーションすてっぴ
- ・ケアホームRUN
- ・メゾンすてっぴ
- ・ケアホームすきっぴ
- ・わくわくハウス
- ・ケアホームじゃんぴ
- ・すまいるホーム
- ・前橋市障害者生活支援センター
- ・ワークセンターまえばし
- ・サービスステーションすてっぴ
- ・kid's club
- ・Little kid's club

〒379-2164	前橋市東上野町 136 番地 1	TEL 027-290-6161
〒379-2164	前橋市東上野町 136 番地 1	TEL 027-290-6161
〒371-0017	前橋市日吉町 2-17-10	TEL 027-219-2525
〒379-2164	前橋市東上野町 136 番地 1	TEL 027-290-2233
〒371-0017	前橋市亀泉町 3-32	TEL 027-289-5605
〒371-0004	前橋市亀泉町 3-83	TEL 027-269-7444
〒371-0004	前橋市亀泉町 3-41	TEL 027-288-0704
〒371-0007	前橋市上泉町 338-1	TEL 027-289-8177
〒371-0007	前橋市上泉町 338-2	TEL 027-212-7730
〒379-2114	前橋市上増田町 1852-5	TEL 027-289-5660
〒371-0017	前橋市日吉町 2-17-10	TEL 027-236-0001
〒371-0017	前橋市日吉町 2-17-10	TEL 027-231-7345
〒370-3513	高崎市北原町 67-4	TEL 027-372-3456
〒379-2164	前橋市東上野町 136 番地 2	TEL 027-289-6162
〒379-2164	前橋市東上野町 136 番地 2	TEL 027-289-6162